

びわこ文化公園都市 交通活性化タスクフォースについて

令和8年(2026年)5月25日(月)

びわこ文化公園都市・交通活性化タスクフォース事務局
(滋賀県 交通まちづくり部 交通まちづくり政策課)

びわこ文化公園都市・交通活性化に向けて

■びわこ文化公園都市のめざす姿

- ◆ 昭和54年(1979年)に、大津市瀬田地域から草津市にかけて広がる丘陵地約520haを、県内外からの利用を想定した質の高い文化、教育、福祉、研究、研修、レクリエーションの施設を集積させ、緑に包まれた文化の新都市を創造することを目指した「びわこ文化公園都市構想区域」と位置づけ、これまで多様な施設・機能の集積を図ってきた。
- ◆ 令和5年に策定した「**びわこ文化公園都市将来ビジョン**」では、びわこ文化公園都市を「**未来を創造する実証フィールド**」として位置づけ、「CO₂ネットゼロ社会づくりの推進」や「交通の利便性」など、滋賀県内における各種課題に対して、先導的に解決策を探索していくことを掲げている。



■びわこ文化公園都市将来ビジョンにおける「交通」のめざす姿

1. プラットフォームテーマ: 「移動の自由」
2. めざす姿: (1)多様な移動手段により、誰もが「行きたい場所へ」「行きたい時」に「自由に移動」できるエリア
(2)新たなモビリティの導入可能性を検討するエリア

■その他(びわこ文化公園都市の交通に関連する計画等)

1. 大津市地域公共交通計画(R6.5)
 - ・学術・文化拠点(びわこ文化公園都市)
 - ・拠点間ネットワーク:瀬田駅⇄びわこ文化公園都市
 - ・市外アクセスネットワーク:南草津駅⇄びわこ文化公園都市 等
2. 草津市地域公共交通計画(R6.6)
 - ・複合連携核(びわこ文化公園都市周辺)
 - ・市域を跨ぐ広域的なバス路線網の充実
 - ・新たな地域拠点となるびわこ文化公園都市へのアクセス強化 等
3. 滋賀地域交通計画(R8.3月策定予定)
 - ・びわこ文化公園都市エリアは、主に地域Ⅱに該当(JR駅方面は地域Ⅰ)

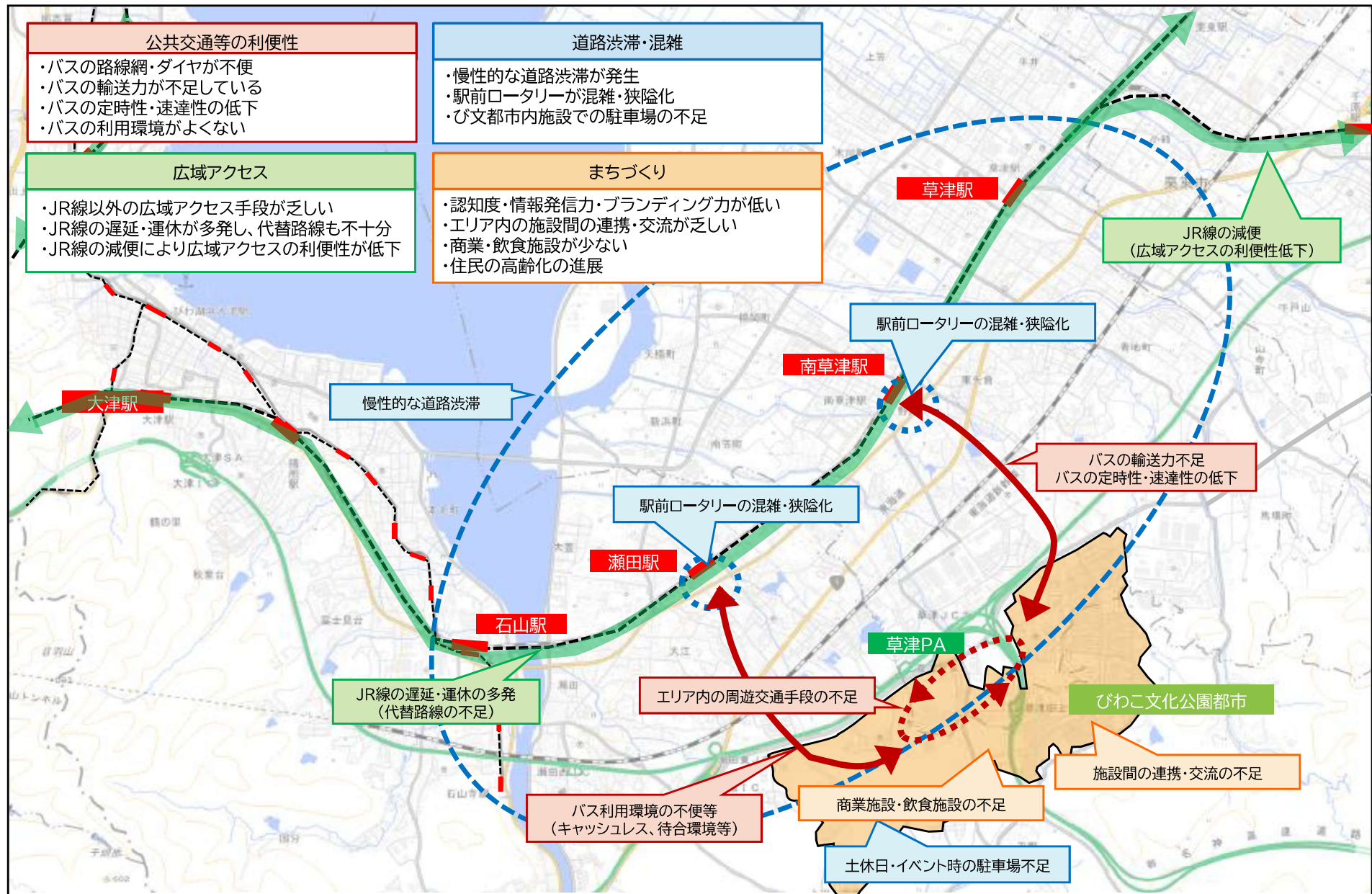


【地域Ⅱの地域交通将来デザイン】

- ・路線バス・コミュニティバスとデマンド交通、タクシー等により、鉄道駅との有機的結合と、地域内の移動を確保し、家族等の送迎負担の緩和を目指す。
- ・夜間の交通網が弱い一部の地域は、運行時間の延長等により帰りの移動を確保し、通勤・通学手段の選択肢になることを目指す。
- ・企業の通勤手段の地域交通への転換により渋滞解消と、それに伴う地域交通の定時性確保等を目指す。

現状・問題の整理

■タスクフォースでの議論、各種ヒアリング・アンケート等から出された「びわこ文化公園都市エリア」の交通にかかる主な問題点

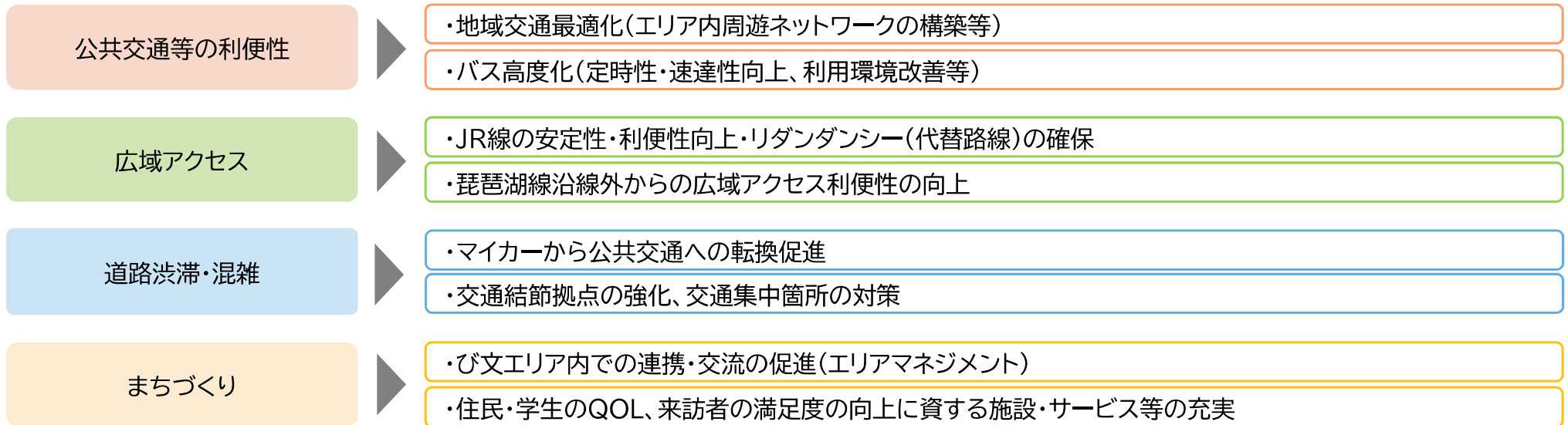


※地理院地図を加工して作成

施策検討の方向性

びわこ文化公園都市将来ビジョン等で掲げられた交通のめざす姿、タスクフォースでの議論や各種ヒアリング・アンケート等の結果から、4つに整理した「現状・問題点」を踏まえ、施策検討の方向性を以下のとおり整理した。

■問題点の解消に向けた施策検討の方向性



■施策例 ※短期=1～5年程度、中期=6～14年程度、長期=15～20年程度

公共交通等の利便性	●【短中期】	びわこ文化公園都市エリア内の施設間を横繋ぎするバス路線の育成	道路渋滞・混雑	●【短中期】	TDM(交通需要マネジメント)施策の推進
	●【短期】	バス交通を補完するシェアモビリティ・グリーンスローモビリティ等の導入		●【短中期】	主要渋滞箇所調査とボトルネック交差点等の対策検討
	●【短中期】	複数の事業者間・路線間・モード間での共同化・協業化の推進		●【短中長期】	JR駅・び文都市内での交通結節拠点の形成・強化・分散化
	●【中長期】	運輸連合など地域交通最適化に向けた新たな運行スキームの検討		●【長期】	バイパス整備の推進
	●【短中期】	バスの利用環境改善の推進(キャッシュレス決済、バス待ち環境改善)			
	●【短期】	連節バスの増備等による輸送力の強化			
	●【中期】	バスの走行環境改善の推進(信号調整、交差点対策、PTPS、優先レーン等)			
	●【長期】	BRT等の新モビリティの検討(専用走行空間・自動運転等)			
広域アクセス	●【短中期】	安定運行に向けたJRとの連携・要望の強化	まちづくり	●【短期】	施設情報・イベント情報の共有と共同発信を行う仕組みづくり
	●【中期】	石山～草津間のJR線のリダンダンシー路線となる広域幹線バス路線の育成		●【短中期】	既存施設の充実や、施設間で連携したコンテンツの造成の推進
	●【中期】	草津PAを活用した高速バス路線の育成		●【短中長期】	商業・飲食系等の施設・サービスの充実
	●【短中長期】	利便性向上に向けたJRと連携した利用促進や駅周辺まちづくりの推進			

※施策例として記載している内容は、TFでの議論等を踏まえて例として挙げているもので、実施が決定したものではありません。施策の実施に向けては、改めて適切な主体・会議体で議論し、その実現性や効果の検証、優先順位の検討等を行いながら検討を進めていくことが前提となります。

令和7年度 主な施策・事業(実績)

短期的に着手できる施策については、令和7年度から実施。

①電動キックボード試乗会 (龍谷大学、滋賀県、滋賀ダイハツ販売)

龍谷大学瀬田キャンパスを会場に、学生・教職員・地域住民等を対象とした電動キックボードの試乗会を開催。(272名が試乗体験)



②シェア電動キックボード実証導入 (滋賀県、滋賀ダイハツ販売、各施設)

滋賀ダイハツ販売の協力を得て、電動キックボードを試験的に導入。

滋賀ダイハツ販売(株)

Happy Board

(特定小型原動機付自転車)

- ・R8年(2026年)1月より順次導入
- ・午前8時～午後6時(年中無休)
- ・利用料金:330円/15分、他
- ・概ね1年間の導入を予定



	ポート設置施設
1	龍谷大学(瀬田キャンパス)
2	滋賀ダイハツアリーナ
3	びわこ文化公園
4	フォレオ大津一里山 (4月開始予定)

③南草津駅東口シェルター整備事業 (草津市)

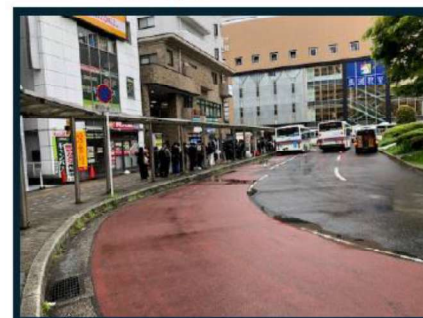
南草津駅東口については、雨除けとなるシェルター(屋根)の拡大整備を実施。



④南草津駅利用環境改善事業(継続) (滋賀県、立命館大学、近江バス)

南草津駅東口において、7時台のバスに利用を誘導するため、バス運賃のダイナミックプライシング(併せて、立命館大学による朝食無料施策)を実施。

< 8時51分 >



R7. 4. 23 ピーク列解消

< 最後尾 >



R7. 4. 23 雨天日 最後尾